

やったもん勝ち!?

プロから学ぶ陸上講座



大崎町には『陸上のプロ』がいることをご存知でしょうか。

町が進める『陸上競技の聖地』実現プロジェクトの推進役として、昨年9月『陸上競技の聖地』創造プロデューサーに就任した原口幸一さんです。

これまで、合宿誘致のための視察や小中学生への陸上指導、くにの松原内へのクロスカントリーコースの設定など、本町のスポーツ振興に取り組みられています。

そんな中、生涯学習の一環として『小学生陸上スポーツ講座』を開講しました。

この講座は、『運動会で少しでも速く走ること』『陸上競技に興味を持ってほしい』との思いで夏休み期間を活用して行われ、町内の児童26名が陸上のプロから速く走るためのコツを伝授してもらいました。

講座は、地域おこし協力隊の川上寛太さんもサポート役として参加し、児童らと交流しながら進められました。

初日は緊張もあったせいとか、全員ぎこちない動きだったものの、2回目からは笑顔も増え、笑い声も多く聞こえるようになった。



原口幸一さん
『陸上競技の聖地』
創造プロデューサー

りました。また、回数を重ねるごとに基礎的練習のラダー、ミニハードル、スタート練習が上達していきました。

練習に取り入れたリレーでは、学校も学年も違う中で、どうしたら速く走れるかを自分たちで話し合わせ、順番を決めました。一度目よりも二度目と、リレーの回数を重ねるごとにバトンパスが上達し、児童らは「もう一回!もう一回!」とみんな楽しんでいました。

講座の中盤と終盤の2回、50メートル走を計測したところ、16名がはじめよりも速い記録を出し、満足した表情を見せました。

原口さんは「子どもたちは内容にも不安があったと思うが、笑顔で真剣に取り組んでくれてうれしい。練習したことが少しでも形になって、運動会で早く走れることを期待したい。」と話しました。